

# 中小企業の悩みに助言

## 商品開発や販路開拓 専門家が集結

### 大垣市でワンストップ経営相談会



専門家が事業者の悩みに対応したワンストップ経営相談会＝大垣市小野、市情報工房

大垣商工会議所と大垣共立銀行、大垣西濃信用金庫は17、18の両日、各分野の専門家を集めた「ワンストップ経営相談会」を大垣市小野の市情報工房で開き、地域の中小企業、小規模事業者から販路開拓などにまつわる悩みに応えた。

(宮本寛)

2016年から毎年2回、業診断士や税理士、社会保険、企業の相談に幅広く対応できるようにと中小企業、アドバイザーなど、各分野

の専門家を一堂に集めた。

2日間とも新型コロナウイルス対策として対面とオンラインで開催し、計約80事業所が約100件の相談をした。新商品開発や販路開拓のほか、来年10月に始まるインボイス制度(適格請求書等保存方式)の相談も目立った。

市内で仏壇店を経営する男性は、開発中の新商品を持ち込んで助言を求めた。

専門家からは「ウェブやイベントで販売し、反応を見て方向性を絞り込んだ方がいい」「仏壇店の名前はあえて出さず、新しい屋号で

売り出しては」などと提案。男性は「業界の中だけで考えていると視野が狭くなる。客観的な意見が聞けてありがたかった」と話した。